

大腿骨近位部骨折手術後患者の退院先早期決定に関する因子の検討

この研究は、通常の診療で得られた記録や残存検体を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2017年4月1日から2018年1月31日の間に八尾徳洲会総合病院に大腿骨近位部骨折にて入院し、手術が施行された患者さま。

2. 研究目的・方法

急性期病院において、大腿骨近位部骨折後に手術が施行された患者を対象に、入院前情報、入院中情報、術後動作レベルと退院先との関連因子を検討し、それらを臨床導入し早期に方針を決定していくことを目的としています。

方法として、大腿骨頸部骨折後に手術が施行された患者さまを対象に、入院前・入院中・術後・退院時の要因を評価します。そして、退院先(自宅退院群、転院群)との関連する要因を検討します。※「研究期間」についても記載して下さい。

3. 試料・情報の利用拒否

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

①入院前情報(基本情報)

年齢、性別、栄養状態:MNA-SF、活動の広がり:LSA、認知症の有無、同居家族の有無 等

②入院中情報

術前リハビリに対する自信、理学療法士による術前・後の回復予測、
医療ソーシャルワーカー介入日、術前待機日数、術後在院日数 等

③術後動作レベル

術後1日目:車椅子移乗実施の有無、術後3日目:平行棒内歩行開始の有無 等
術後動作開始までの日数:車椅子移乗開始、平行棒内歩行開始、平行棒外歩行開始

④退院時情報

退院先:自宅退院群、転院群

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

・研究責任者:

医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院 リハビリテーション科

文 聖現(研究事務局代表)

〒581-0011 大阪府八尾市若草町 1-17

TEL:072-993-8501 FAX:072-993-8567

(2018年6月28日作成)